

令和 7 年度

学 校 要 覧



稲沢市立稲沢中学校

〒492－8145

愛知県稲沢市正明寺二丁目1番1号

TEL (0587)－32－2168

FAX (0587)－32－2169

E-mail js-inazawa@city.inazawa.aichi.jp

【学校の強み】

- ・生徒同士が認め合う姿勢
- ・優しさのあふれる言動
- ・愛校心にあふれている姿
- ・生徒一人一人に寄り添うことができる教職員
- ・保護者・地域の温かいバックアップが得られる

学校教育目標

生涯にわたり、人間としての成長と発達を続けていく基盤となる力を培うとともに、地域を愛し、社会に貢献しようとする生徒の育成

《めざす生徒像》

- ◎ 人間尊重の精神と心豊かな情操を身に付けた生徒
- ◎ 自己と集団のため困難に耐え、進んで協調しやり遂げる生徒
- ◎ 強い意志とたくましい体力をもち、気力にあふれた生徒
- ◎ 勤労を尊び、奉仕の心でよく励む生徒
- ◎ たえず進展する力、新しいものを創造する力を身に付けた生徒

【保護者の願い】

- ・伸び伸びと自信をもって学校生活ができる
- ・思いやりあふれる生徒
- ・礼儀正しい生徒
- ・地域を愛する生徒
- ・命を大切にする生徒

【地域の特徴】

- ・強い地域のつながり
- ・伝統行事やボランティア活動など、地域と関わる機会が豊富
- ・稲沢中学校を誇りに思い、稲中を大切にしようという地域の雰囲気がある

【学校経営方針】

- 1 教育環境を充実させ、伝統校としての魅力ある校風の樹立
- 2 わかることやできることの喜びを保障する学びの工夫・改善
- 3 生徒の心を耕し、自らが社会性や人間性を高める生徒指導の推進
- 4 生徒をよく理解し、よさと可能性を引き出すため、互いに高め合う教職員集団の構築
- 5 地域に開かれ、信頼される学校を目指した家庭・地域との連携・協働

【令和7年度の重点努力目標】

- 1 母校の伝統「あいさつ」「合唱」「自主性」を誇りに感じ、自ら考え、自ら創り上げる生徒の育成
- 2 わかる・できる喜びを実感させる「学び」の工夫・改善
- 3 豊かな心を育てる生徒指導の推進
- 4 同僚性（互いに支え合い、高め合う協働的な関係）を高める教職員集団の構築
- 5 教職員の危機管理意識と生徒の安全意識を高める「安全教育」の推進
- 6 地域に開かれ、信頼される学校を目指した家庭・地域との連携・協力
- 7 働き方改革のための意識改革と業務改善の推進

顔晴る子・顔晴る教職員を目指す具体的な取り組み

絆づくり

互いに「認め合う・励まし合う・高め合う」集団づくりを進め、心の居場所や、絆を深めることを大切にします！

- (1) 伝統を受け継ぎ、母校を愛する生徒
 - ・「あいさつ」「合唱」「自主性」
- (2) 温かい人間関係づくり
 - ・学級・学年経営の充実
 - ・「ふれあいタイム」の充実
 - ・生徒会を中心とした異学年交流
- (3) 特色ある活動
 - ・生徒の自発的な生徒会・委員会活動
- (4) 道徳教育の充実
 - ・各教科、年間行事との関連を意識した道徳教育
- (5) 夢を語り、持ち味を発揮する生徒の育成
 - ・キャリア教育の推進
 - ・職場体験学習
 - ・進路学習会（地元高校）
 - ・小中連携

授業づくり

わかる・できる喜びを実感させる「学び」の工夫・改善を目指し、互いに高め合います！

〈現職教育研究テーマ〉

学びを振り返り、自己調整しながら粘り強く学習に取り組む生徒の育成
～教科の特質に応じた対話的な活動と振り返り活動の充実を通して～

- (1) 自分の学び方を実感することができる授業づくり
 - ・振り返りの場の設定
 - ・振り返りのタイミングの工夫
 - ・振り返りの内容の活用
- (2) 学び合いを中心とした授業づくり
 - ・ペア、グループ活動での学び合い
 - ・対話方法の工夫
- (3) 知的好奇心を揺さぶる授業づくり
 - ・学習課題の提示の工夫
 - ・自分の生活との関わりを意識できる授業展開の工夫
- (4) 教員同士で高め合える研修
 - ・教員同士が学び合う場の工夫

環境づくり

「傾聴」「真摯」「丁寧」を大切に、学校と家庭・地域の双方が信頼できる関係づくりに努めます！

- (1) 家庭・地域連携
 - ・学校公開、学校評価、学校運営協議会
 - ・まちづくり、地域行事へのボランティア参加
- (2) 地域素材、人材の教材化
 - ・地域交流講座・職場体験学習
 - ・キャリア教育講演会
- (3) 教育相談活動の充実
 - ・生徒のやる気を引き出す相談支援
 - ・心の教室、SCの活用
- (4) 情報共有のための仕組みづくり
 - ・ICTを活用した情報発信と共有
- (5) 心身の健康づくり
 - ・学校保健委員会の取組
- (6) 安心・安全のための環境整備
 - ・交通安全、防災・防犯教育の推進
 - ・落ち着いた教室環境の整備
- (7) 働きがいを感じる職場づくり
 - ・適材適所とワークライフバランスの推進

1年間の主な行事

4月	入学式 若狭宿泊学習(1年生)	10月	体育祭 文化祭 体験学習(2年生)
5月	修学旅行(3年生)	11月	地域交流講座
6月	生徒総会	12月	
7月	夏季大会	1月	
8月	職場体験学習(2年生)	2月	旗手任命
9月		3月	卒業式



稲沢中学校校歌

作詞 稲中国語部会
作曲 田村 範一

一、濃尾の平野は目もはるに

黄金の波の打つところ

平和の光身において

集う我等の希望は高し

二、木曾の真清水とこしえに

つきせぬ流れ讃えつつ

窮理の船に棹さして

進む我等の希望は高し

三、雲にそびゆる伊吹嶺の

雄々しき姿仰ぎつつ

文化の国のいしずえと

励む我等の希望は高し

沿革史

明治	20年	5月	中島郡高等小学校創立
	29年	6月17日	稲沢町他26か町村立稲沢高等小学校と改称
昭和	9年	7月16日	現在の稲沢市正明寺二丁目に移転
	16年	4月1日	学制の変更により、稲沢町立中高国民学校と改称
	22年	4月18日	新学制実施により、中島郡稲沢町立稲沢中学校と改称
	33年	11月1日	市制祝賀式を受け、稲沢市立稲沢中学校と改称
	40年	4月3日	特別支援学級（あすなろ学級）を開設
	51年	4月1日	稲沢市立治郎丸中学校を分離
	58年	4月1日	稲沢市立稲沢西中学校を分離
	63年	10月1日	創立百周年記念式典を開催
平成	5年	12月6日	新校舎竣工式を開催
	7年	3月30日	武道館が完成
	8年	4月5日	日本語適応学級を設置
	12年	6月5日	心の教室相談員の配置
	16年	4月1日	特別支援学級（あすなろ2組）新設
	30年	6月20日	教室に空調設備（エアコン）を設置
令和	2年	3月2日	新型コロナウイルス感染症予防のため臨時休業を実施
	6年	12月24日	屋内運動場に空調設備（エアコン）を設置
	7年	4月1日	特別支援学級を「あすなろ」「はなのき」「けやき」に改称



学校組織

（１）学年・学級（2025年4月1日現在）

学年	1年	2年	3年	特別支援学級			合計
				あすなろ	はなのき	けやき	
学級数	3	4	4				
生徒数	105	126	123	6	6	4	370

（２）教職員（2025年4月1日現在）

校長	兼子 淳敏
教頭	伊藤 幹也
教務主任	中村 晋也
校務主任	天野 明子
3年主任	佐藤 千代子
2年主任	加藤 久海
1年主任	玉那覇 兼一
保健主事	渡辺 美奈
生徒指導主事	村上 恭平
進路指導主事	後藤 雄一郎
養護教諭	豊島 妙子
3年1組担任	村上 恭平
3年2組担任	荻窪 司
3年3組担任	野田 大勢
3年4組担任	矢野 菜月
2年1組担任	野尻 真義
2年2組担任	堀田 友紀
2年3組担任	服部 亮
2年4組担任	加賀 栞理
1年1組担任	渡辺 美奈
1年2組担任	吉川 菜々美
1年3組担任	橋本 義史
あすなろ学級担任	橋本 智恵子
はなのき学級担任	前野 知香
けやき学級担任	鴨志田 美佳
拠点校指導員	浅野 昭彦

1年所属	福井 理恵
1年所属	菱川 美代
1年所属	山田 絢斗
1年所属	梶野 未侑
2年2組副担任	山内 淳史
2年所属	星野 実亜
総括事務長	朴山 浩二
校務補佐員	渡邊 宏依
特別支援教育支援員	久手堅 千穂
スクールサポートスタッフ	光 寄 千明
スクールカウンセラー	小池 純代
心の教室相談員	岡田 直子
調理員	村瀬 沙織
調理員	千葉 草子
調理員	松永 邦恵
調理員	和仁 麻未
部活動指導員	二和田 茂
部活動指導員	平松 重樹
部活動指導員	福田 晃
部活動指導員	岩田 滝一
部活動指導員	林 佳史
部活動指導員	宮本 将希

通級指導教室担当	遠島 雅大（千代田中）
栄養教諭	今村 光（小正小）
スクールソーシャルワーカー	田中 優花（稲沢西中）